記譜力・読譜力をはぐくむ指導の工夫
― フレーズカードを活用した音楽づくりを通して 第 4学年）―

音楽科学習指導案

音楽でクラスのキャッチフレーズをつくろう」
― フレーズカードを活用した音楽づくりを通して ―

沖縄県立総合教育センター後期長期研修員検証授業案

南城市立大里南小学校

當眞　嗣博

2009年 1月

平成20年度　後期長期研修員　検証授業

音楽科学習指導案

日　　時　平成21年 1月20日（火）　４校時
場　　所　南城市立大里南小学校　４年３組
児　　童　男子20名　　女子18名　　計38名
指導主事　玉　城　美智子
授 業 者　當　眞　嗣　博

1　題材名　音楽でクラスのキャッチフレーズをつくろう

2　題材設定の理由

(1) 教材観

小学校新学習指導要領(2008)は，これまで同様，表現及び鑑賞の２領域で構成しつつ，表現及び鑑賞に関する能力を育成する上で共通に必要となる〔共通事項〕を新たに設置し，さらに表現領域は，歌唱，器楽，音楽づくりの３分野で示すこととなった。特に今改訂において重要とされていることは，創作（音楽づくり）と鑑賞の充実や，新設の〔共通事項〕と各活動との関連を十分に図ることである。

このような音楽科の課題を踏まえて，これまでの私の音楽づくりの活動を振り返ると，児童が自分のふしをつくる段階においてはおおむね意欲的な活動が行えていた。しかし記譜力・読譜力が不十分なため，つくった音楽を記譜したり，再現することができず課題となっていた。そこで，音楽活動の基礎的な能力である，記譜力・読譜力を育むために，授業者が作成した「フレーズカード」を活用した音楽づくりに取り組むことにした。「フレーズカード」には，リズム，音高，旋律，音楽に関する記号・用語など〔共通事項〕に関連する内容を，段階的・継続的に盛り込むこととした。

(2) 児童観

本校の児童は，明るく活気があり，意欲的に歌唱活動・器楽活動などに取り組むことができる。本検証授業の対象学年児童である４年生に実施したアンケート調査によると，「音楽の授業で苦手な活動は何ですか」の質問に対しては，「音楽づくり」48%が圧倒的に高く，以下「器楽活動」24%，「歌唱」22%「鑑賞」14%という結果であった。

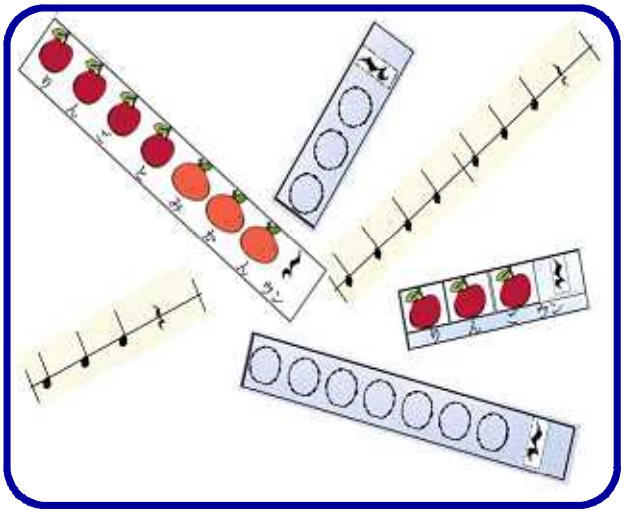
一方，「音楽づくりをしてみたいですか」に対しては，「とてもしてみたい・してみたい」が64%，「あまりしたくない・したくない」が44%であり，「音楽づくりは苦手であるが興味関心は高い」といった傾向が見られた。音楽づくりの活動が苦手であると答えた要因としては，「旋律のイメージが浮かんでこない」が51%，「楽譜を書いたり読んだりすることに自信がない」が38%などである。

音楽づくりに対する興味関心は高いので，記譜力・読譜力など，音楽活動の基礎的な能力が高まれば，旋律へのイメージが膨らむことが期待できる。「フレーズカード」を活用した音楽づくりを通して，記譜力・読譜力を育み，イメージどおりの音楽がつくれる喜びを味わわせていきたい。

(3) 指導観

フレーズカードは，絵譜・音符・休符・記号・用語など〔共通事項〕に関連する内容を，組み合わせ，簡単な音楽のまとまりを記載した２小節または，４小節程度のオリジナルのカードである。児童の実態を踏まえながら効果的にフレーズカードを取り入れ，段階的・継続的に記譜力・読譜力を育成できるように実践していきたい。

音楽づくりの活動においては，児童生徒の苦手とする活動であることを踏まえ，ドリル学習に終始して，音楽の楽しさを見失うような活動ではなく，絵譜やリズム譜などを使い，音遊びの要素を取り入れ，楽しく音楽づくりができるよう工夫していきたい。



フレーズカードの例

3　題材の目標

(1) 簡単な旋律からリズムをききとり，記譜することができる。
(2) ４小節の旋律をつくり，記譜し，リコーダーなどで演奏できる。
(3) 友だちの旋律の良いところを認め，自分のつくった旋律を振り返ることができる。

4　評価規準

1　関心・意欲・態度	2　音楽的な感受や表現の工夫	3　表現の技能	4　鑑賞の能力
①簡単なリズムや旋律をつくって表現することに興味・関心をもち，音楽づくりを楽しんでいる。 ②音遊びや身体表現活動に意欲的に取り組んでいる。	①様々なリズムや旋律及び拍子を生かした表現のしかたを工夫している。 ②自分の表現したいことについて思いやイメージを広げ，音楽づくりの仕方を工夫している。	①様々なリズムや旋律及び拍子の組み合わせを工夫して表現している ②つくった音や音楽を工夫して記譜している。 ③楽譜と音の関連に気づきハ長調の旋律を演奏している。	①教師の範奏や互いの作品の特徴を感じ取り，聴くことができる。

5　指導と評価の計画（８時間）

次	時間	学　習　活　動	◇教師の支援 ☆共通事項	評価の観点 1	 2	 3	 4	評価方法
第1次	1	1　即興的に音楽づくりをする ①キャッチフレーズを「みんななかよし４の３」にきめる。 ②音楽づくりに取り組む。 ③次時からのめあてを知る。	◇教材提示を工夫し，学習意欲を持たせる。 ☆拍のながれ ◇本題材の学習活動の流れを確認させ，学習に見通しを持たせる。	①	①	①		・ワークシート
第2次	2	2　拍の流れを理解する㋐ ①４小節の視唱や指遊び階名唱をする。 ②リコーダー模唱をしたり，フレーズカードを使ってリズム当てゲームをしたりした後，記譜させる。	◇１小節１１パターン（休符あり）のフレーズカードで，拍の流れを理解させる。 ☆拍のながれ　☆反復 ◇理解した拍の流れを記譜できるように支援する。			③ ②		・行動観察 ・ワークシート
	3	3　拍の流れを理解する㋑ ①４小節の視唱や指遊び階名唱をする。 ②フレーズカードを使ってリズム当てゲームや階名唱をし，記譜させる。	◇１小節１１パターン（休符なし）のフレーズカードで，拍の流れを理解させる。 ☆拍のながれ　☆反復 ◇理解した拍の流れを記譜できるように支援する。	②		②		・ワークシート
	4	4　２小節のフレーズを理解する ①４小節の視唱や指遊び階名唱をする。 ②既習の拍の流れを活用し，フレーズカードを使ってリズム記譜をした絵譜に音高を書き込み，５線譜に記譜する。	◇㋐，㋑のフレーズカードを組み合わせ，２小節のフレーズを理解させる。 ☆拍のながれ　☆反復 ◇理解した拍の流れを記譜できるように支援する。	②		②		・行動観察 ・ワークシート
	5	5　３種類の拍子を理解する ①４小節の視唱や指遊び階名唱をする。 ②拍子当てゲームをする。 ③フレーズカードを使ってリズム記譜をした絵譜に音高を書き込み，５線譜に記譜する。	◇ 2/4，3/4，4/4 拍子のフレーズカードを使って拍子を理解させる。 ☆音楽を特徴付けている要素 ☆拍のながれ　☆反復 ◇拍子の違いを身体表現を使って理解させる。	②		②		・行動観察 ・ワークシート
	6	6　音楽でクラスのキャッチフレーズ	◇これまで学習してきたリズムや拍子					

		をつくる。 ①視奏唱や指遊び階名唱をする。 ②音楽づくりをする。 ③フレーズカードを使ってリズム記譜をした絵譜に音高を書き込み，５線譜に記譜する。	を使って４小節の音楽づくりをさせる。 ☆音楽を特徴付けている要素 ☆拍のながれ　☆反復 ◇拡大したフレーズカードにつくった音楽を記譜させる。	①	②	②		・ワークシート
第３次	７本時	７　発表会をする ①視奏唱や指遊び階名唱をする。 ②発表会をする。 ③ワークシートに感想を書く。 ④自分の作品を振り返る。	◇自分のつくった音楽を演奏し，友だちのつくった音楽の良さを聴き取らせ，自分の音楽を振り返る。 ☆音楽を特徴付けている要素 ☆拍のながれ　☆反復			①	①	・行動観察 ・発表 ・ワークシート
	８	８　クラスのキャッチフレーズをを決める ①良かった演奏を模奏唱してみる。 ②話し合って，クラスの音楽を決める ③決まった音楽を全員で模奏唱し，記譜する。	◇できあがった音楽を視奏唱して，クラスで話し合わせ，キャッチフレーズにふさわしい音楽を決めさせる。 ☆音楽を特徴付けている要素 ☆拍のながれ　☆反復 ◇決まったキャッチフレーズを記譜させることにより，記譜の大切さを理解させる。			②	①	・ワークシート

6　本時における評価基準

主な学習活動	評価基準とその方法	学習活動における具体的評価基準		
		A 十分満足できる	B 概ね満足できる	C 支援の具体的方法
①自分のつくった音楽を発表する。 ②友だちのつくった音楽の良いところを見つける。	○自分のつくった音楽を演奏できる。（３－①） 【行動観察・発表】 ○友だちの曲の良い点を感じ取る事ができる。（４－①） 【ワークシート】	○自分のつくった音楽だけでなく，友だちのつくった音楽も演奏できる。 ○友だちのつくった音楽の良さに気づき，自分の音楽づくりに生かすことができる。	○自分のつくった音楽を演奏できる。 ○友だちのつくった音楽の良さに気づくことが出来る。	○自分のつくった音楽をリズム唱させ，演奏できるように助言する。 ○鑑賞のポイントを示し，友だちのつくった音楽の良さに気づかせる。

7　本時の展開（7/8時間）

(1)　本時のねらい

・自分でつくったキャッチフレーズを演奏できる。

・友だちの演奏の良さに気づくことができる。

(2)　準備

掲示用フレーズカード一覧表（㋐，㋑，2/4，3/4，4/4 の拍子），発表用フレーズカード

掲示用ワークシート，児童用ワークシート

(2)　本時の展開

過程	学　習　活　動	◇指導上の留意点 ☆共通事項	評価方法	準備
導入 10分	１　４小節の視唱をする。 ２　「きらきら星」等の音遊びや階名唱をする。 ３　「オーラリー」を斉唱する。	◇必要に応じて，最初の音を示す。 ◇教師が伴奏し，のびのびと歌わせる。		・掲示用フレーズカード一覧表 ・ピアノ

	4　学習課題を確認する	◇自分でつくった音楽を発表したり，友だちの音楽の良さを聴き取る事を知らせる。		
	クラスのキャッチフレーズ「みんな仲良し４の３」の発表会をしよう！			
展開 30分	5　自分でつくった曲を視奏唱して練習する。 6　発表会を行う。 7　友達のつくった曲を聴いて，良さをワークーシートに書く。	◇スムーズに発表できるように，机間指導しながら，練習の支援をする。 ◇発表がスムーズに行えるように配慮する。 ◇互いの発表を聴いて，評価・感想を記入させる。	発表 （３－①） ワークシート （４－①）	・掲示用ワークシート ・発表用フレーズカード ・ワークシート
まとめ 5分	8　自分でつくった音楽を振り返る。 9　次時の学習内容を確認する。	◇今日の学習の感想をワークーシートに書かせる。 ◇次時の予告，クラスのキャッチフレーズの決定に感想が生かされるよう促す。		・ワークシート